

令和4年度第2回会議における計画（素案）に対する指摘事項と修正内容について

頁	指摘事項	修正内容
P66 ~78	<p>VI. 今後の取り組み施策 2. 各取り組みの概要 全体的に施策の内容が抽象的でわかりづらい。また、「関係者」と連携、協議という記載があるが、誰と誰が連携、協議するのか不明で全体的にイメージがつかみにくい。</p>	<p>全体を通して具体例や説明文を加え、「関係者」となっていた箇所については、公共交通事業者、市の各担当部門、施設関係者等に分類しました。</p>
P69	<p>取り組み項目1-3 乗合タクシーの効率化を図るための運用方法の見直し ■利用方法等の見直しと周知徹底 東金市は、当日キャンセル数が多い。当日キャンセル対策が利用者の性善説を前提とし過ぎている。</p>	<p>当日キャンセルの対応策について、「当日キャンセル回数が多い利用者に対する注意喚起を行います。」を加えました。</p>
P72	<p>取り組み項目2-3 市外への移動の利便性の向上 ■JR東金線、高速バスの運行サービスの維持・向上 「運行時間帯の拡充、増便、新たな路線の確保等について運行事業者へ働きかけます。」となっており、市から運行事業者への押し付けのようにとれる。「一緒に考えていく」というような表現にできないか。</p>	<p>「運行時間帯の拡充、増便、新たな路線の確保等の方策について、利用者の利用状況やニーズを継続的に調査するとともに、市が公共交通事業者との意見交換や協議の場を設け検討します。」に修正しました。</p>
P76	<p>取り組み項目4-3 モビリティ・マネジメントへの挑戦 モビリティ・マネジメントは昔からある取り組みで、企業、学校などでいろいろな取り組みに使われてきた。モビリティ・マネジメントをどう位置づけるのか。</p>	<p>企業等では、モビリティ・マネジメントによるゼロカーボンを目指す等の取り組み事例がありますが、この計画の中では、公共交通の利用者増加に寄与するために、市民の公共交通に対する関心を高める施策として内容をまとめました。</p>
P78	<p>取り組み項目5-2 乗り継ぎ拠点の整備に向けた調査 「乗り継ぎ拠点の整備」について、内容や取り組みの方向性がわかりにくい。</p>	<p>この5年の計画期間中に乗り継ぎ拠点を整備・完成させることは難しいことから、現実的かつ具体的な内容にするために、タイトルを「乗り継ぎ拠点の整備」から「乗り継ぎ拠点の整備に向けた調査」に変更し、候補地選定を目的とした調査の実施、情報収集とした内容に修正しました。</p>
P79	<p>VII. 今後の進め方 計画の達成状況の評価について<<目標の評価指標>> ■方向性3 駅やバス停の利用環境の充実 指標⑥ 目標の「駅やバス停の利用環境の充実」に対し、指標が「利用者数の維持」となっており、目標と指標が直接的に結びつかない。</p>	<p>指標を公共交通に対するアンケートの満足度に変更しました。</p>